

薬草園かわらばん

皆さ〜んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2018年
6月4日
第43号

テイカカズラ (キョウチクトウ科)

園内、育苗室横のフェンスや園の向かいのカフェテリアのフェンスにジャスミンの香りに似た芳香のある白花が見られます。本州以西に分布する、つる性木本の常緑樹です。花弁は風車のように捻じれており、萎れると黄色に変色します。花後には細長い袋果をむすびます。名前の由来は藤原定家の伝説に因んでつけられたようです。薬用に用いる習慣はありませんが、同属植物のトウキョウチクトウの根、茎、葉を、中国では生薬名、絡石（ラクセキ）または絡石藤といい、祛風湿を目的に関節炎などに用いたり、駆虫薬として使用するようです。



キョウチクトウ (キョウチクトウ科)

園内、資材倉庫前でピンクの八重の花が咲き始めました。また、学内駐車場横には、白花を付けたボリュウムのある木が目を引きまします。インド原産の常緑樹で、大気汚染や乾燥などに強いことから、工場、街路樹等に広く植えられています。和名は漢名「夾竹桃」の音読みからとられています。日本でも中国でも有毒植物として扱われ、殺虫目的に利用するくらいです。毒性成分は、強心配糖体のオレアンドリン、アジネリンで、枝を串焼きの串として使って死亡した例や、家畜の飼料にこの植物の葉が混入して家畜が中毒を起こしたりした例があります。

今、こんな草木がたのしめます！

待ってま〜す！！